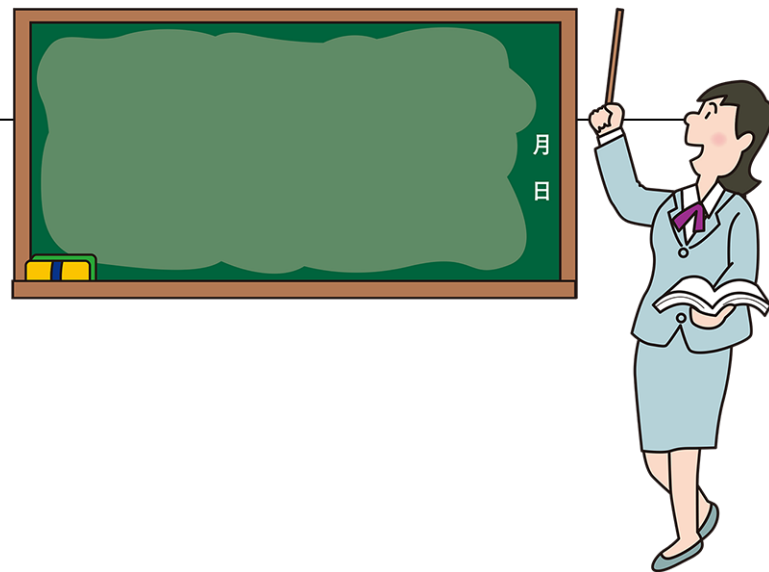
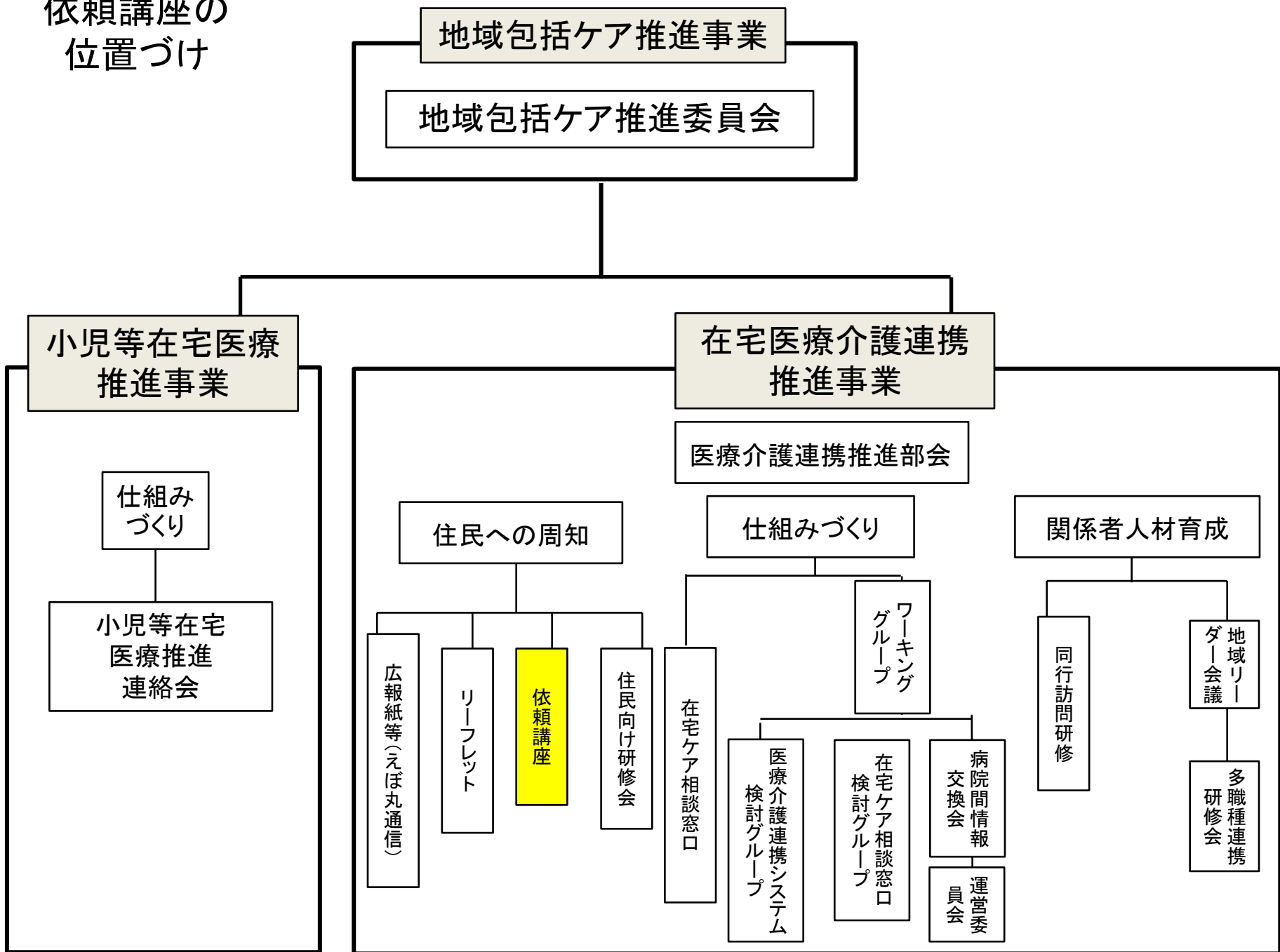


依頼講座 ～取組み状況～



依頼講座の 位置づけ



講座の案内

茅ヶ崎・寒川地域 在宅医療・介護連携推進事業

在宅医療と介護の講座



講師派遣のご案内

『在宅医療』をご存知ですか？

住み慣れた地域で暮らし続けるためにできることがあります。家での療養を支援するために、在宅医療という選択肢があります。地域の集まり（地域のサロン・自治会等）に在宅ケア相談窓口の職員が講師として伺います。安心な生活につながるヒントを盛り込んだ内容で気軽に学んでみませんか？

なぜ今、在宅医療なのか？

往診と訪問診療の違いは？

かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の役割って？

地域包括ケアシステムって何？

など

- 対象者：茅ヶ崎市・寒川町の地域の団体やグループ（自治会など）
- 会場：基本的には申し込まれた団体が活動する会場で行います。
- 時間：月曜日～金曜日 おおむね1時間程度（要相談）
- 費用：無料 *原則、1団体につき年間1回のご利用となります。
- 申込方法：開催希望日のおおむね1か月前までに、裏面の申込書にご記入の上、直接窓口にお申し込みください。

【お問い合わせ】

茅ヶ崎市保健所 地域保健課 地域保健担当 在宅ケア相談窓口
〒253-8660 茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目8番7号
電話：0467-38-3319



講座の案内

茅ヶ崎・寒川地域 在宅医療介護連携推進事業

テーマ

最期まで住み
慣れた地域で暮らし
続けるために
～在宅医療と介護について～

【内容】

2025年問題に向けて、最期まで住み慣れた地域で暮らし続けるために、在宅医療と介護について学び、これからの生き方を一緒に考えてみませんか。

参加
無料

先着
30名

2018年9月13日 木

時間 / 10:00～11:30

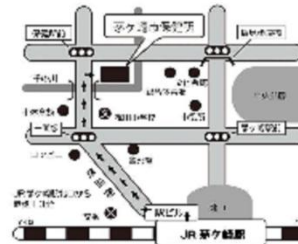
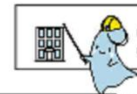
茅ヶ崎市保健所 講堂

講師：在宅ケア相談
窓口 職員

お申込み・お問合せ

茅ヶ崎市保健所
地域保健課
在宅ケア相談窓口
(茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目8番7号)
TEL:0467-38-3319

介護の講座 在宅医療と



講座の様子



講座のメニュー

茅ヶ崎寒川における高齢者医療介護連携 推進事業について

- ①茅ヶ崎市の高齢対策事業
- ②市町の協同事業
- ③「在宅ケア相談窓口」の役割

日本の現状と課題

- ①人口ピラミッド
日本の人口推移
2025年問題
- ②人口構成の変化
現役世代の減少
世帯構成の変化
- ③医療費の現状
高齢者の医療費
日本の医療費
- ④看取りの場所
看取り難民
- ⑤死亡原因別死亡数
3大疾病
がん予防
- ⑥超高齢社会の課題

茅ヶ崎の現状

- ①人口ピラミッド
- ②介護保険認定者数
- ③世帯構成の変化
- ④高齢化率

医療介護の方向性

- ①医療計画
- ②地域医療構想計画(ベッドの運用)
- ③住民の意向調査(介護・看取りの場所)
- ④地域医療の推進
- ⑤地域包括ケアシステム

専門職の連携

- ①医師会 在宅療養支援診療所
- ②歯科医師会 連携室
- ③薬剤師会
- ④多職種連携研修会

これからの地域づくり

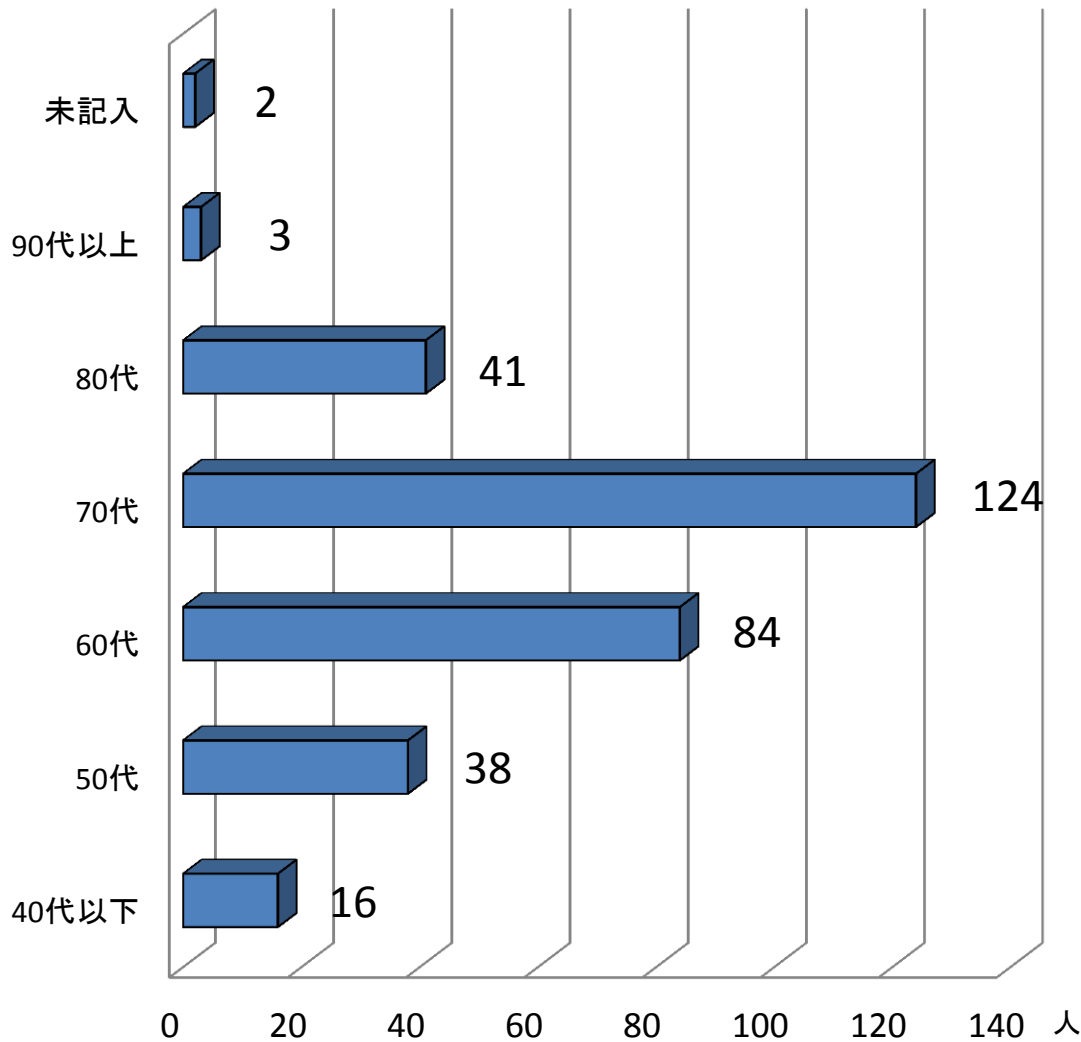
- ①住民の参加 自助・互助・公助・共助
- ②看取りの準備
- ③まとめ

講座の上半期実績(29年度は8件)

NO	開催日	依頼団体	参加人数
1	H30.4.10	茅ヶ崎地区民生委員・児童委員協議会	27
2	H30.5.8	茅ヶ崎南地区民生委員・児童委員協議会	22
3	H30.6.5	保健所開催1回目	5
4	H30.6.21	歯科推進員	30
5	H30.7.19	ベルなごみの会	26
6	H30.7.27	東海岸北民生委員・児童委員協議会	19
7	H30.8.7	鶴嶺東地区民生委員・児童委員協議会	32
8	H30.8.7	浜須賀地区民生委員・児童委員協議会	21
9	H30.8.8	寒川町ケアマネ部会	11
10	H30.8.24	鶴が台老人会 鶴寿会	47
11	H30.9.13	保健所開催2回目	14
12	H30.10.2	松林地区民生委員・児童委員協議会	24
13	H30.10.4	友の会 中央労働金庫	36
14	H30.10.12	NPOあいむ湘南	12
15	H30.11.1	茅ヶ崎南地区まちぢから協議会	37
16	H30.11.6	鶴嶺西地区民生委員・児童委員協議会	20
合計			383

講座のアンケート集計結果

年齢別参加者数



性別

■ 男 ■ 女



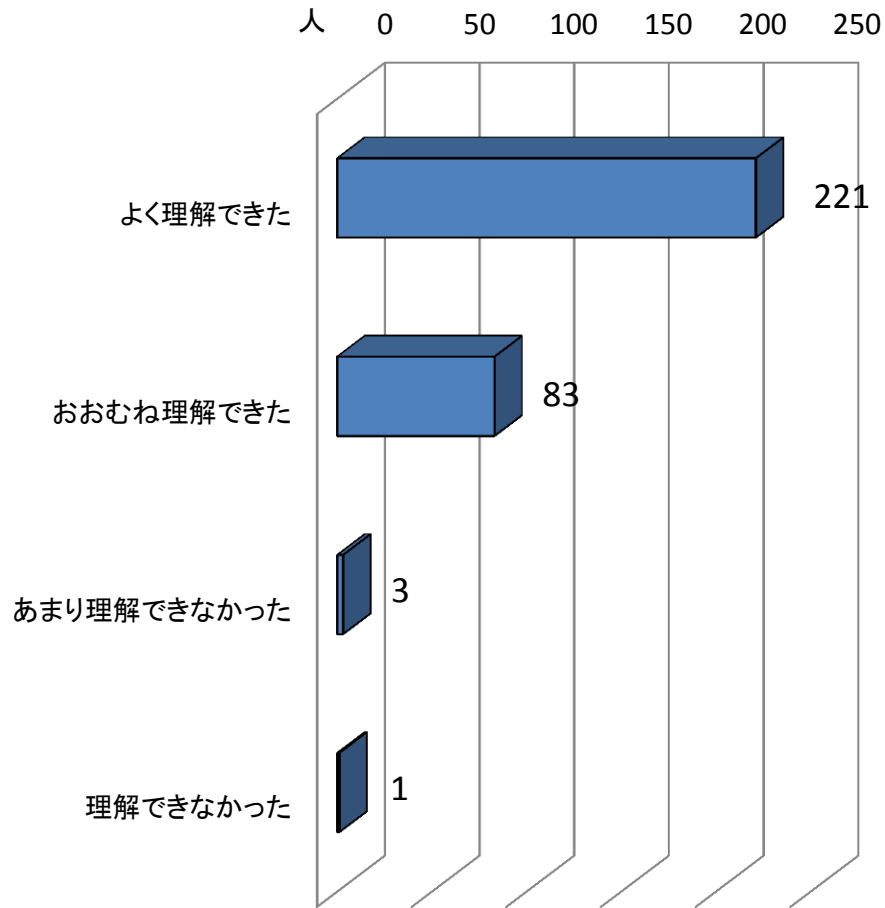
居住地

■ 茅ヶ崎 ■ 寒川

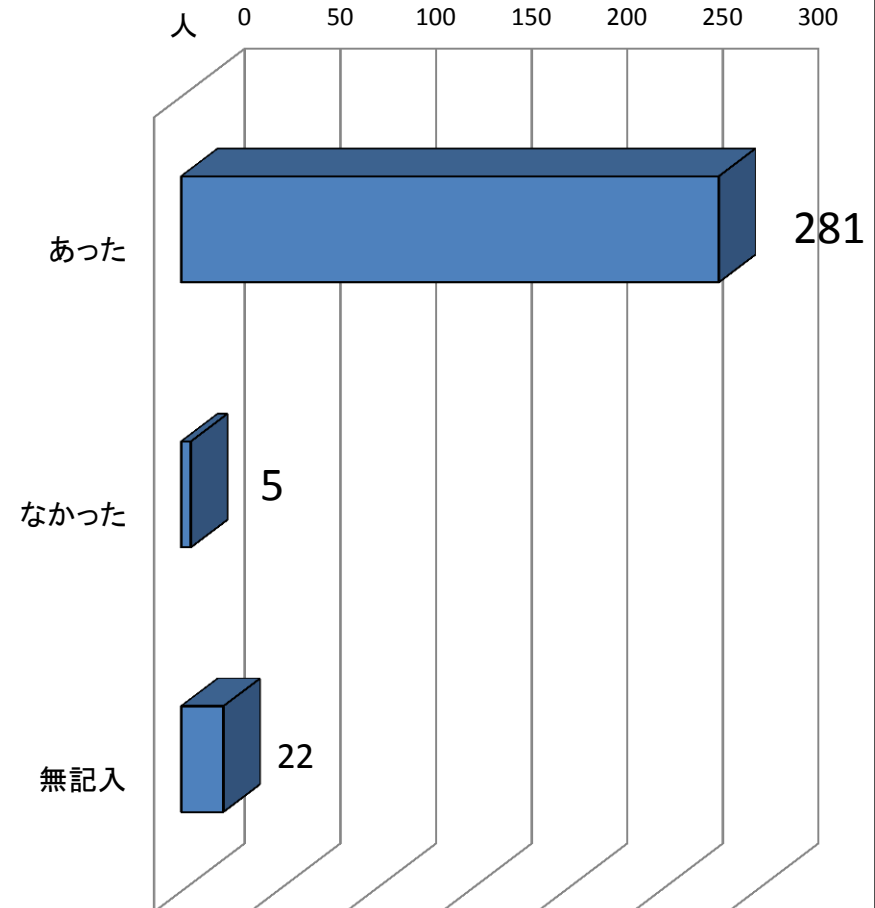


講座のアンケート集計結果

講座の理解度



今後に活かせること



講座のアンケート集計結果

講座の内容を生活に活かしていきたいと思った事が【あった】と回答した方の内容

- 在宅医療の体制が参考になりました。
- 今後の自分の生き方について考えました。
- 日頃の健康管理をし、家で最期を迎えたいと思いました。
- 高齢者から歯の相談を受けたら紹介できるシステムがあり良かった。
- 自分だけの事ではなく、民生委員として周囲の人に役立てていきたい。
- 夫婦だけの暮らしなので、将来残された側の心配をかかりつけの病院を持っていないので、まずそこからしたいと思っています。 等

講座のアンケート集計結果

その他・感想

- 机上論ではなく、実際の話が聞けて良かった。
- この講座から動き出す方向(介護保険のこと等)が分かってきました。
- 義兄が在宅医療介護の末に亡くなりました。本人・家族も満足してました。
- これからの過ごし方を考えている最中に、よいお話を聞かせていただきました。
- 義父母90歳と84歳と同居の為、今後の事を考えると非常に参考になりました。
- 認知症の母を見送ったのが自宅でした。最後に「ありがとうございます」の言葉と素敵な笑顔(天使みたい)だったのが幸せでした。
- これからの高齢社会とこれからの取り組み、医療について整理が出来ました。茅ヶ崎寒川の医療機関の役割が具体的にわかりました。
- 昨年、主人が亡くなり、子供家族と生活しております。今回の話を聞き、これからどのように生きていったらよいかとしても良いお話でした。考えていきたいと思いました。等

講座の予定(30年度下半期)

時期	依頼団体
11月	高齢福祉介護課 ケアマネの研修会
11月	サニータウン茅ヶ崎自治会
1月	湘南シニアクラブ
2月	松浪地区民生委員会・児童委員会
未定	茅ヶ崎歯科医師会(仮)

医師臨床研修での講座 ～依頼講座の延長線上の取組み～

内容

医師臨床研修の一環で、地域保健研修として、保健所で保健医療の理解、医師の責務としての保健指導及び公衆衛生の重要性を実践の場で学び、併せて地域保健行政における医師の役割を理解することを目的としている。

『医療と介護の連携について』

研修時期	7月、10月、1月
対象者	市立病院研修医
人数	3名～5名

実施後アンケート

研修医A

現在の日本の高齢化・少子化問題を中心に、医師としてできる地域医療への貢献について改めて学んだ。現時点で救急や急性期として患者をみていると、地域医療の細かい部分まで全てを網羅することは難しいが、今後の自分のキャリアとして地域医療を選ぶことも考慮できると思った。

実施後アンケート

研修医B

在宅医療の重要性について改めて気づかされた。ACPという概念は知らなかったが、このアイデアを社会に浸透させるためにはまだ時間が必要そうなので、自分達が患者に発信していくことで少しでも医療費の削減やQOL向上に繋げていけたらいいと思った。

実施後アンケート

研修医C

茅ヶ崎市は在宅医療の先進地域であるが、それを担う医師の高齢化しているとのことで、将来、在宅医療を行う医師へのシフトも面白そうだと思った。